

# たかまつ市議会 レポート

## REPORT

平成25(2013)年10月15日発行(第163号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

### 高松市危機管理センター(仮称)

今後、高い確率で発生が予想される東南海・南海地震などの災害に備えるため、本庁舎の西側に災害対策本部機能、消防局機能、上下水道局機能等を集約した高松市危機管理センター(仮称)を平成30年度の早い段階での供用を目指し、整備する予定です。



高松市危機管理センター(仮称)等の完成模型

平成25年  
9月定例会

秋号

### 目次

- 代表質問 …… 2～4
- 質疑・一般質問ほか …… 5～7
- 情報BOX …… 8

### 定例会の日程

- 9月9日 開会・提案説明
- 12日 代表質問
- 13日 代表質問・質疑
- 17・18日 一般質問
- 19日 一般質問・特別委員会審査
- 20日 常任委員会審査
- 25日 委員長報告・採決・閉会

## 今定例会で決まった主な内容

### 【市長提出議案】

#### ● 補正予算

- ▽ 市民評価者による公開施設評価の実施により、フアシリティマネジメントを推進するための予算
- ▽ 保育所等の加配保育士等を増員し、障がいのある児童の健やかな育ちを支援するための予算
- ▽ いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ相談体制の一層の強化を図るための予算
- ▽ 企業誘致条例に基づき、指定を受けた企業に助成するための予算

#### ● 条例

- ▽ 公共交通の利用促進に関し、基本理念等を定めるための条例制定
- ▽ 東部運動公園の弓道場及びアーチェリー場の供用開始並びに利用料金制導入のための条例改正

### 【議員提出議案】

#### ● 意見書

- ▽ 地方税財源の充実確保を求める意見書
- ▽ ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書
- ▽ 国立ハンセン病療養所の職員削減を行わず、医療・看護・福祉の充実を求める意見書

平成25年第4回高松市議会定例会は、9月9日から25日までの17日間の日程で開かれました。今定例会では、平成25年度一般会計補正予算など31議案と意見書3件を可決したほか、陳情1件を不採択としました。また、人事案件10件に同意したほか、24年度一般会計など決算4件を継続審査としました。

# 代表質問

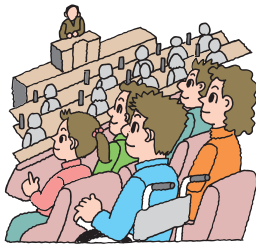
各会派を代表して、妻鹿常男（同志会）・大西 智（弐ラ岬）・大山高子（公明党）の3人の議員が質問しました。

## 質問の主な内容

**妻鹿常男議員（同志会）**  
政治姿勢・財政・まちづくり・防災・濁水・福祉・創造都市・教育

**大西 智議員（弐ラ岬）**  
財政・災害対策・第5次高松市総合計画・教育・創造都市推進ビジョン・観光振興

**大山高子議員（公明党）**  
財政関連・災害対策・行財政改革計画・がん対策・アレルギー対策・文化振興・教育・参議院選挙結果など



## 総合計画

### 第4期まちづくり戦略計画

総合計画の最終年度を見据えた実効性のある計画とする

**質問** 平成26・27年度を計画期間とする

第4期まちづくり戦略計画は、第5次高松市総合計画の総仕上げの期間でもあるので、過去3期の経験を生かした、実効性のある計画策定が必要だが、策定の基本的な考え方は。

【同志会・弐ラ岬】



**答** 第4期計画は、これまででの計画との継続性に配慮しつつ、行政評価の結果等を活用しながら、総合計画に掲げる施策目標の達成に主眼を置いた調整を行い、総合計画の集大成として取りまとめる。

また、将来にわたって市民が生き生きと暮らせるまちの実現を目指し、多核連携型コンパクト・エコシテ

## 観光

瀬戸内海国立公園指定80周年を機に、本市のブランドイメージ向上につなげる

**質問** 来年7月に本市内海国立公園指定80周年記念典に合わせて、指定当初、多くの観光客を集めた観光屋島の復活の契機となるような関連事業を効果的に実施し、本市のブランドイメージ向上に努める考えは。

【同志会】



屋島から見る瀬戸内海国立公園の夕景

**答** 指定80周年を絶好の機会と捉え、今年3月に策定した屋島活性化推進計画に基づき、今年度から実施する屋島活性化キャンペーン事業の中で、屋島の魅力発信に取り組むと

ともに、関連事業の実施等により、瀬戸内海の魅力を積極的に国内外に発信し、本市のブランドイメージ向上につなげる。

【同志会】

**質問** 海外からも多く来場者がある瀬戸内国際芸術祭2013を、本市の観光振興につなげるためには、来場者にリピーターとなってもらうことが不可欠だが、残る秋会期への課題は。

前回の芸術祭では、主要観光地への誘致や高松での滞在の推進などが課題とされたが、秋会期に向けての取り組み課題は。【公明党】

**答** 同芸術祭をきっかけに、本市の魅力に触れ、リピーターとして何度も高松を訪れ、よさを広めてくれる「高松ファン」をふやすことが課題である。

このため、秋会期でも、玉藻公園を会場とする「匠のおもてなし事業」や県との連携による「うどん県時間旅行物語」などの関連事業を積極的に実施し、「高松ファン」の拡大を図る。

金沢市との協定締結を機に、両市の発展につながる末永い交流を行う。

質問

今年10月の金沢市との文化・観光交流協定締結を機に、協力して交流人口の拡大等に取り組み、地域経済の活性化に結びつける必要があると考えますが、交流をどう進めるのか。

【同志会】

答弁

石川県と「観光パートナーシップ協定」を結ぶ香川県とも連携し、3大都市圏等で観光キャンペーンの実施や海外への情報発信等を行い、国内外からの観光客誘致を図る。今回の協定締結を機に、両市が連携し、それぞれの特徴を生かしながら、お互いの発展につながるような末永い交流を行っていく。

信

まちづくり

私道の維持管理についての助成制度を創設

質問

本市では、団地内道路など、公共性が高い場合でも、私道の維持管理を行っていないが、

市民の利便性向上や生活環境保全のため、独自の補助制度を創設する考えは。

【同志会】



答弁

私道の維持管理は、その道路を整備した管理者等で行うことが原則であるが、管理者等において、補修費用の確保が難しいため、適切な維持管理が困難となっている。地域住民の生活に欠かすことのできない道路を適切に維持管理することは、重要であることから、来年度私道の維持管理についての助成制度を創設する。

防

防災

耐震化補助制度の積極的な利用を促すなど、民間建築物の耐震化を一層促進する

質問

去る5月、国は耐震改修促進法を改正し、古い大型施設に耐

震診断を義務づけた。

本市も民間建築物等の耐震化を補助しているが、改修費用が高額で進んでいないため、耐震化を積極的に促進する考えは。【同志会】本市の耐震改修促進計画の着実な実行が、地震時の建物倒壊等による被害の軽減に効果をもたらすが、今後の取り組みは。【福一市民】

答弁

これまでの各種広報媒体での補助制度の周知や、旧高松市内の市街地を中心とした戸別訪問に加え、今後は、市内全域で戸別訪問を実施し、補助制度の利用促進に努める。

また、耐震改修促進法の改正により、新たに耐震診断が義務化された大規模施設にも個別に訪問し、補助制度の利用を促すほか、診断義務はないが、耐震改修促進計画の対象である病院にも個別訪問し、民間建築物の耐震化を一層促進する。

消防団のデジタル無線は、平成27年度中の運用開始を目指し、整備を進める

質問

市民の生命・財産を守るための消防団活動は、多岐にわたつ

ており、本市消防団員の安全確保対策として、津波警報時の情報を団員に伝えるデジタル無線機が必要であるが、積極的に整備する考えは。【福一市民】

答弁

消防団車両の無線機は、国の方針でデジタル化することが定められており、本市でも平成27年度中の運用開始を目指して、整備を進めている。

また、団員の安全確保策として、新たに携帯型無線機の配備も検討するなど、災害対策本部等と連携した情報伝達体制の整備・確立を積極的に推進する。

避難所の生活環境の確保

防災女性チームがまとめた提言を参考にし生活用品などの調達体制の拡充を図る

質問

去る3月、本市職員の防災女性チームがまとめた提言には、社会的弱者や子供、男女の性差に配慮した避難所運営のあり方等が記されており、避難所の生活環境整備に大きく参考になるが、同提言の受けとめは。【公明党】

答弁

避難所で女性が必要とする物資の調達

をはじめ、食事や清掃等のルールづくりなど、女性ならではの細やかな視点からさまざまな提言がなされており、地域防災への取り組みに、女性の参画を得ることは重要と考える。今後とも、同提言の内容を参考に、避難所の生活環境確保に努める。



本市の防災女性チーム

福

福祉

乳幼児等医療費助成制度 来年度から中学校卒業までの入院医療費助成を検討

質問

本市の乳幼児等医療費助成制度は、通院が小学校卒業前まで、入院が小学校卒業までを対象としているが、県内他市では、通院は3市が、入院は7市全てが中学校卒業ま

で助成している。  
本市も安心して子供を産み育てられる環境を整備するため、同制度を拡充する考えは。  
【同志会】

【答弁】 多くの市民から対象年齢の拡大を求め、要望が寄せられているほか、他市の状況を総合的に勘案し、特に高額となる入院医療費の助成対象を、来年度から中学校卒業までに拡大することを検討する。



財源措置を含めた国の社会保障制度改革の着実な推進に期待

去る8月、将来の社会保障制度のあり方を検討する国の社会保障制度改革国民会議は、最終報告書をまとめ安倍首相に提出しました。

【質問】 同報告書では、軽度の要介護者向けサービスを市町村の事業に移行すべきとあり、その対応が重要となるが、同報告書への所見は。【同志会】

同報告書をもとに、国がまとめた具体的な見直し案は、市町村に大きな影響を与えるものとなっているが、その所見は。  
【公明党】

【答弁】 国民健康保険の運営主体を県へ移行する改革方針が示されたことは画期的だが、要支援者への介護予防給付を市町村に移行する改革は、必要な人材と財源の確保が不可欠である。

今後、社会保障全体が将来にわたり持続可能となるよう、国で財源措置を含めた制度改革が着実に推進されることを期待する。

本市としても、超高齢社会の進展に対応する地域包括ケアシステムの構築等に、覚悟を持って取り組む。



学校給食

納入業者への衛生管理指導や給食調理場での検品等を徹底し、異物混入を防止

【質問】 本市の学校給食における異物混入が、今年度に入って既に5件も発生し、学校給食への信頼が揺らいでいる。安全

安心な給食の提供は、当然の責務なので、市を挙げて異物混入撲滅に取り組む考えは。  
【同志会】

【答弁】 給食への異物混入者に対し、原因究明と設備点検の改善・指導を行ったほか、調理員・配膳員の研修において異物混入防止等に重点を置いた指導をした。今後とも、納入業者への衛生管理指導とともに、給食調理場での検品や機器類のチェックなどを徹底し、異物混入防止に努める。

ICT機器を積極的に活用し、楽しくわかりやすい授業への改善に努める



教職員を対象とした「授業ICT活用講座」の様子

今後同機器を積極的に活用し、わかる楽しい授業に向けた改善に努める。  
また、タブレット端末も、授業のあり方を変える契機となるため、先進校の取り組みを参考に、有効性や課題を検討する。

【質問】 ICT（情報通信技術）を活用する能力の向上は、新しい知的価値等を創造し、人口減少などのさまざまな社会的課題を克服していく重要な要素となるため、教育の情報化が果たす役割は重要と考えるが、学校教育でICT機器を活用する考えは。  
【フブライム】

【答弁】 デジタル教科書などのICT機器を、計画的に導入してきたが、

子供のネット依存

児童生徒の依存のサインを見逃さないよう、学校への指導と保護者の啓発を行う

【質問】 子供たちの健康や生活に支障を来すネット依存への対策には、早期の発見と、日常生活の中で発する依存のサインを見逃さないことが大事だが、ネット依存者を出さない取り組みは。  
【公明党】

【答弁】 平成22年度に情報モラル等指導支援事業を立ち上げ、ネット依存の危険性を啓発してきたが、

急速な通信技術の進展により、児童生徒・保護者の使用実態等が変化している。そのため、改めて実態調査を行うとともに、各学校では情報モラル教育を充実させるなど、児童生徒の依存のサインを見逃さないよう、学校への指導と、保護者への啓発を行う。

【質問】 がんに関する保健教育強化の方針を決定したが、昨年度、本市の中学校において、がん教育は実施されていない。  
DVD等を活用し、がん教育を進めるべきだが、今後の取り組みは。【公明党】

【答弁】 児童生徒が、がん予防などの重要性を認識し、将来、健康診断などに積極的に臨む姿勢を育むことは重要で、現在、がん教育の効果的な指導を検討している。  
今後は、DVD教材等を積極的に活用し、がんへの正しい知識を持ち、生涯にわたり健康管理ができる児童生徒の育成に努める。

【質問】 児童生徒が、がんに関する保健教育強化の方針を決定したが、昨年度、本市の中学校において、がん教育は実施されていない。  
DVD等を活用し、がん教育を進めるべきだが、今後の取り組みは。【公明党】

# 質 疑

今定例会に提出された議案について、質疑がありました。

公共施設のあり方には市民レベルでの根本的な議論を岡田まなみ議員（無所属）

# 一 般 質 問

市政のさまざまな課題について、14人の議員が質問しました。

## 一 般 質 問

**質 問** 本市のひょうげ祭りをはじめ、全国にはさまざまなおもしろい祭りがあるが、笑うことは、ストレス解消になる等、現代病の予防になると考えられるため、全国の自治体に呼びかけ、笑いフェス

笑いフェスティバルイベント等の開催を小比賀勝博議員（同志会）



**答 弁** 笑いの祭りである、ひょうげ祭りは、貴重な伝統・文化であることから、継承・保全を行うとともに、活性化を図りながら、情報発信に努めることで、同フェスティバル開催につながることを期待する。【他の質問▼安全安心のま

ちづくりなど】

**答 弁** 公共施設の適正化の検討には、市民の利用実態等を踏まえるとともに、施設は利用しないが納税者として経費を負担す

**質 疑** 構想日本による公開施設評価が提案されているが、公共施設は、市民の蓄積した財産であり、そのあり方には、市民レベルでの根本的な議論が必要と考えるがどうか。



る市民の意向も考慮する必要がある。このため、公開施設評価を通じ、市民と行政等の相互の認識が深まり、適正化に向けて、市民を交えた議論が深まることを期待する。

地域コミュニティ協議会が行う独自事業の非課税化について税務署と協議を三好義光議員（布う紙）

**質 問** 地域コミュニティイセセンターの指定管理者であるコミュニティ協議会は、本市の委託料や独自事業の収入が1千万円を超えると課税事業者となり、独自事業も課税対象となる。

**答 弁** 本来、収益事業を会の独自事業が、非課税取

消費税が課税されると、負担がふえ、同事業が実施できない可能性もあるので、市として同事業の非課税化を税務署と協議する考えは。

高齢者の生きがいづくりや社会活動への参加促進に向けた具体策山田 勲議員（公明党）



引にならないかなど、消費税の取り扱い等を、改めて税務署と協議する。【他の質問▼地方交付税と消費増税・協働推進員制度】

**質 問** 孤立死や認知症など高齢者の孤立化問題には地域社会を挙げて取り組むべきで、その対策として高齢者の生きがいづくりや社会活動への参加促進が重要だが、具体策は。



**答 弁** 老人クラブ等が実施する事業に補助を行うなど、高齢者の社会参加や就労機会の拡大に努めているほか、今後は、全市

的に、おおむね徒歩圏内に1箇所を目安として、高齢者の身近な居場所を整備する事業を検討している。【他の質問▼待機児童解消加速化プラン推進など】

生活保護ケースワーカーの大幅増員を岡田まなみ議員（無所属）

**質 問** 生活保護行政の現場で、申請者の立場に立った親身な相談や、申請時の迅速な決定等が行われるよう、ケースワーカーを大幅増員する考えは。



**答 弁** 本市では、被保護ケースワーカーが社会福祉法の標準数を下回っている。生活保護事務の適正な運営には、被保護者に対するきめ細やかなケースワークが重要であるため、生活保護の動向等を見きわめる中で、適正配置に努める。【他の質問▼高松市総合福祉会館の整備など】

高松まつりに姉妹城・親善都市等のゆるキャラを招待し、にぎわいの創出を

波多 等議員 (同志会)

質問

高松まつりに、本市の姉妹城市である彦根市の「ひこにゃん」や親善都市である水戸市の「黄門様と助さん格さん」等のゆるキャラを招待し、観客を集め、総おどりに誘導することで、にぎわいを創出する考えは。



答弁

彦根市や水戸市のゆるキャラは、人気と知名度があるので、総おどりへの登場は、にぎわい創出につながると考える。今後、交通規制による周辺への影響も考慮しながらパレードの規模や実施形態などを検討する。  
【他の質問▼本庁舎内の美術作品の紹介・広報など】

学力向上への今後の対策

森合忠造議員 (同志会)

質問

去る8月に公表された全国学力テストでは、県内中学生の国語の応用問題で2年連続全国平均を下回ったが、学力向上のための今後の対策は。



答弁

県内同様、本市児 童生徒の学力向上には、無解答率の高さに課題がある。その解消には、学習意欲向上が大きく影響するため、わかる楽しい授業づくりや根拠を明確にし、みずからの考えを表現できる言語活動をとり入れた授業への改善を各学校に指導する。  
【他の質問▼農政】

子供の貧困対策を市政の重要な柱の一つに

三野ハル子議員 (祐一組)

質問

子供の貧困対策は、長期にわたり、行政・市民・企業、そして、

何よりも社会を変える努力がなければ進まないと考えるので、市政の重要な柱の一つとして取り組む考えは。

答弁

子供の貧困は、国も総合的な対策を推進するための法整備を行ったことなどから、本市としても取り組むべき重要な施策の一つと認識している。今後とも、関係機関と連携し、生活困窮者対策とも関連させながら、子供の貧困対策に鋭意取り組む。  
【他の質問▼学校図書館の充実など】



国が作成した「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」への対応

中村伸一議員 (公明党)

質問

去る8月、国は東日本大震災を教訓に、飼い主とペットの同行避難などを定めた「災害時におけるペットの救護対

策ガイドライン」を作成したが、本市の対応は。



答弁

同ガイドラインを受け、県獣医師会などの関係機関や団体等とも連携しながら、災害時にペットの受け入れが可能な避難所の選定をはじめとするペット適正管理等の課題を整理し、ペットの救護体制の整備に努める。  
【他の質問▼教育・創造都市・健康づくり】

早明浦ダム以外の水源状況の公開を

一川浩三議員 (無所属)

質問

渇水時、市民と市民の節水意識を喚起するため、早明浦ダム以外の水源状況を公開する考えは。

答弁

渇水時、市民や事業者に、河川水やため池貯留水、宝山湖など

の水源状況を正確に知らせ、風評被害を防止するとともに、危機感を持って節水に取り組むことが重要なので、取水制限の状況に応じ、水源状況等を、適時適切に知らせる。

【他の質問▼柵川ダム再検証における検討案など】



改築によるコミュニティセンターの整備を

十川信孝議員 (同志会)

質問

コミュニティセンターの整備に当たり、耐震補強ありきでは地域にとって、機能的な整備配置はできないと考えるがどうか。

答弁

既存施設の有効利用を基本に、一定の条件を満たすセンターのみ改築を検討する整備方針を定めているが、耐震補強を行う場合でも施設利用者の要望等を聞く中で地域の実情に応じた対応をしている。今後も、整備方針に基づ

**答弁** 万引きは、子供たちの規範意識などの欠如が一つの要因と考えられるので、各学校で道徳教育等の充実を図っている。また、同リーフレットを配布し、家庭で万引き等について話し合うよう呼びかけるほか、各地域の健全育成団体等の協力を得て、万引き防止街頭キャンペーンを実施するなど、学校・家庭・地域が、より連携を深め、万引き防止に向けた取

**質問** 本市が作成した万引き防止リーフレットはわかりやすいので、大いに活用して、子供の万引き防止に取り組む考えは。

啓発リーフレットを活用して万引き防止を  
藤原正雄議員（同志会）



き、早期の耐震化と長寿命化を基本としつつ、地域住民が活動しやすいセンターとなるよう適切に対応する。  
【他の質問】▼選挙投票率向上・カラス対策

**答弁** インターネットによる同制度の申し込みは、開館時間外でも利用申し込みが可能となり、利



**質問** 市民に使いやすい図書館にするため、市図書館が所蔵していない図書在全国の公立図書館等から借りる制度（相互貸借制度）の申し込みを、図書館窓口だけでなく、インターネットからも可能にする考えは。

全国の公立図書館等が所蔵する図書の貸出申し込みを、インターネットで  
中西俊介議員（柿う紙）



り組みを強化する。  
【他の質問】▼ICT・教育問題など

**答弁** これまでも雨水管整備や用排水路の改修などで、被害の軽減に努めてきた。今後、浸水の状況や原因を十分調査し、緊急性や重要性を踏まえて、雨水管整備も含め、地域の実情に応じた整備手法を検討する。



**質問** 中心市街地では、雨水幹線やポンプ場の整備が進められているが、市街地周辺の被害に悩まされている地域では、整備が進んでいないので、雨水管を整備する考えは。

浸水被害に悩まされている地域での雨水管整備を  
大見昌弘議員（同志会）

便性の向上につながるので、来年2月の図書館情報システム更新に合わせ、ホームページへの申込書様式の掲載等を検討する。  
【他の質問】▼市民活動センター・公開事業評価など



**答弁** 同センターの運転後の対応等の合意内容は、誠意を持って遵守するとともに、老朽化したコミュニティセンターの整備など、今回、合意した地域振興事業についても、地元協議会と十分に意思疎通を図りながら着実に推進する。  
【他の質問】▼スポーツ振興、中央卸売市場

**質問** 西部クリーンセンター長寿化計画は、当初計画から運転期間の見直しや周辺環境整備等を実施することで協議が調い、去る9月に合意した。合意内容は、地元の切実な要望であるので、実現に向け、市全体で着実に取り組む考えは。

西部クリーンセンター長寿化に係る地元との合意内容の着実な取り組みを  
岡下勝彦議員（同志会）

【他の質問】▼市民サービス、市税の収納など

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では、審議の結果、議案等のうち4件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合には○を、反対の場合は×を、会派で意見が分かれている場合は△を表示しております。

件名	議決結果等	同志会	市民フォーラム21	公明党	無所属		
					二川	香川	岡田
市長提案 議案	平成25年度高松市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	×
	平成25年度高松市水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	×
陳情	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	×	△ (賛成4/反対3)	×	×	×	○
議員提案 議案	地方財源の充実確保を求める意見書	○	○	○	○	○	×

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

## 委員会のその他活動など

### ●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

総合防災対策	9月5日	高松市危機管理センター(仮称)等建設基本設計(案)の概要について説明を受け、協議しました。
--------	------	---

### ●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

経済環境	7月12日	高松市立ヨット競技場整備基本構想(案)
	9月6日	高松市創造都市推進ビジョン(案)
	9月20日	高松市観光振興計画(2013~2015)案、高松市文化芸術振興条例(仮称)の基本的考え方、西部グリーンセンターの長寿命化工事
建設水道	8月19日	屋外広告物の規制・誘導内容の見直し(案)

### ●議会運営委員会

今任期中の議会基本条例制定に向けて、7月2・23日、8月2日、9月4・26日に開き、条例の構成及び条文内容等について協議しました。

## 決算審査特別委員会

平成24年度の決算を審査するため、特別委員会を設置しました。委員は次のとおりです。

(定数10人)  
 ◎山田 勲(公明党) ○波多 等(同志会)  
 三好 義光(勇→義) 森谷 忠造(同志会)  
 落合 隆夫(同志会) 十川 信孝(同志会)  
 神内 茂樹(同志会) 春田 敬司(公明党)  
 白石 義人(同志会) 大西 智(勇→義)  
 (◎委員長 ○副委員長)

## 人事案件

次のとおり選任・推薦に同意しました。

### ●固定資産評価審査委員会委員(選任)

川口 洋子氏

### ●人権擁護委員候補者(推薦)

星川 叔子氏 蓮井 孝夫氏  
 八十川 芳子氏 松本 喜代子氏  
 中條 定男氏 浅田 克典氏  
 山下 幸男氏 西原 泰廣氏  
 春日 あけみ氏

## 市議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。(開催については、事前に市議会ホームページに掲載します。)

なお、本会議の受付場所には以下の道順でお越しいただけます。

## 加藤博美議員逝去

加藤博美議員(56歳)が、9月27日、逝去されました。



同議員は、平成19年4月に初当選され、現在2期目で、これまで、公共交通対策、新病院等整備の各特別委員会の副委員長を歴任し、25年5月からは、都市交通対策特別副委員長として活躍されていました。

ここに謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

## 本会議受付場所の案内

1



市役所正面玄関より、お入りください。

2



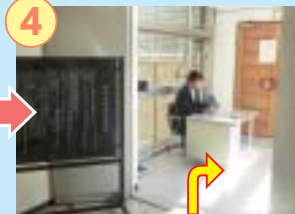
入ってすぐに、案内所がありますので、右にお進みください。

3



左手にエレベーターが見えますので、エレベーターで6階にお進みください。

4



エレベーターを降りていただくと、右手に傍聴受付がございます。

受付で、傍聴者名簿に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取って入場してください。傍聴席は60席のほか、車いす3台分のスペースもあります。